

環境保全センター活動報告(2023年4月～2024年3月)

1. 講演会・講習会・セミナー

- 化学物質に関する講習会
前期 e-learning教材(WebClass「化学物質管理に関する講習会」)による講習会
後期 e-learning教材(WebClass「化学物質管理に関する講習会」)による講習会
- セミナー
2月28日 第3回環境保全セミナー(オンライン)

2. 学内委員会

- 環境保全センター会議
第1回 5月書面
- 環境調査チーム会議
第1回 6月29日 第2回 7月書面 第3回 12月書面
- 環境調査チーム現地調査
前期 7月25日(医学類A棟・B棟・C棟・D棟)、8月8日(がん進展制御研究所)
後期 3月1日(自然科学1号館1-3階)、3月11日(自然科学2号館)、3月15日(自然科学5号館2-5階)
- 環境マネジメント委員会
第1回 5月書面 第2回 9月書面 第3回 2月書面
- 環境報告書編集小委員会
第1回 4月27日 第2回 9月書面
- 安全衛生マネジメント委員会
第1回 6月29日 第2回 11月6日 第3回 3月11日
- 環境保全センター運営委員会
第1回 4月10日 コアファシリティ整備に向けた要望調査について、他
第2回 5月15日 新しい化学物質管理システムの導入計画について、他
第3回 6月12日 環境保全センター管理業務について、他
第4回 7月10日 自律的な化学物質管理への対応について、他
第5回 9月4日 公開講座及び環境保全セミナーについて、他
第6回 10月23日 「金沢大学未来ビジョン『志』」実現に向けた部局との意見交換について、他
第7回 11月22日 事業費の用途について、他
第8回 12月25日 化学物質管理システムの保守契約について、他
第9回 1月16日 震災で破損した試薬への対応について、他

- 第11回 2月19日 環境保全セミナー及び年度末の廃液収集について、他
第12回 3月18日 来年度の化学物質管理システムの導入計画について、他

3. 学会活動(研究に関するものを除く)

- 7月6-7日 第41回大学等環境安全協議会総会・研修発表会 (オンライン、横山・花本出席)
11月30日～12月1日 第39回大学等環境安全協議会技術分科会 (オンライン、横山・花本出席)

4. 研究活動

● 研究費

環境省 環境研究総合推進費 革新型研究開発(若手枠) 「国内河川における陽イオン界面活性剤の濃度予測手法の構築」(令和4～6年度、花本)

科研費 基盤研究(B) 「家畜糞尿管理方式の地域性を考慮した家畜由来薬剤・微生物による水圏汚染のモデル化」(令和3～7年度、花本)

クリタ水・環境科学振興財団 国内研究助成「国内流域における陽イオン界面活性剤のホットスポット形成機構の解明」(令和5年10月～6年9月、花本)

● 論文発表

Hanamoto, S., Minami, Y., Thet H. S., Yao, D. Localized pollution of veterinary antibiotics in watersheds receiving treated effluents from swine farms. 2023, Sci. Total Environ. 902, 166211

● 国際シンポジウム発表

Tanaka H.; Ohara, M.; Yamashita, H.; Hanamoto, S., Prediction and management of emerging chemicals in the water environment. The 24th UK-Japan Annual Scientific Workshop on Research into Environmental Endocrine Disrupting Chemicals and Chemicals of Emerging Concern, October 31st 2023, Tokyo

● 国内学会発表

○花本征也、Zaman Samina、南 雄己、本田 匡人、畜産地域の河川における陽イオン界面活性剤の存在実態、第58回日本水環境学会年会、2024年3月8日、福岡県福岡市

○Yao Dingwen, Osaka Tatsuya, Honda Masato, Hanamoto Seiya, Occurrence and fate of cationic surfactants in sewage treatment plants、第58回日本水環境学会年会、2024年3月8日、福岡県福岡市

○Su Su Thet Hnin, Yuki Minami, Dingwen Yao, Seiya Hanamoto, Hot-spot pollution of veterinary antibiotics in watersheds receiving treated effluents from swine farms、第58回日本水環境学会年会、2024年3月6日、福岡県福岡市

5. 教育活動

GS科目

「環境学とESD」担当(花本, Q1・8コマ, Q2・8コマ, Q3・8コマ, Q4・8コマ)

専門科目

「社会基盤工学実験」(理工学域地球社会基盤学類) 分担(花本, Q1-2・8コマ)

「課題探究ゼミナール」(理工学域物質化学類) 分担(花本, Q3・1コマ)

「安全化学」(理工学域物質化学類) 分担(花本, Q3・1コマ)

大学院科目

水環境保全工学 分担(花本, Q4・1コマ)

環境・エネルギー工学総論A 分担(花本, Q3・2コマ)

6. 環境保全センター人事について

3月31日 センター長 横山 明彦 退職